



投資環境

2023年12月28日

2024年は辰巳天井となるか

□ 卯が跳ねた2023年

2023年の干支にちなんだ相場の格言は「卯(うさぎ)は跳ねる」でした。十干の“癸(みずのと)”は次の新たな生命が成長し始めている状態とされ、また“卯”は景気が回復し、好転するよい年になるとも言われています。

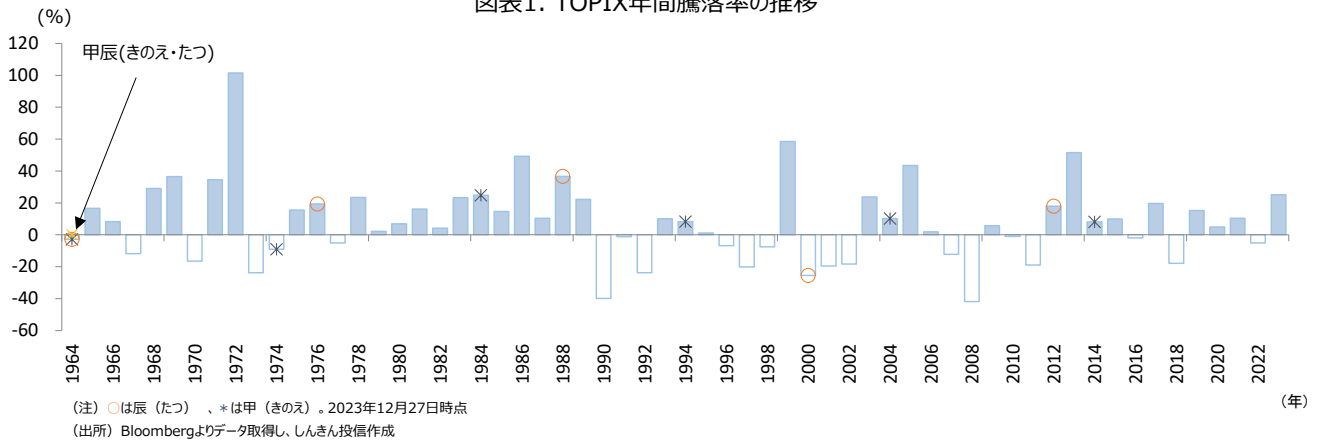
2023年の株式市場は、米国のシリコンバレーバンク(SVB)の破綻を機に広がった金融システム不安、日米の金融政策や中東情勢の緊迫化などに振られながらも、良好な企業業績や円安、東証の株価純資産倍率(PBR)1倍割れ是正要請などを背景に、日経平均株価やTOPIXがバブル後の最高値を更新するなど、格言どおり堅調な動きになりました。

□ 2024年は「辰巳天井」

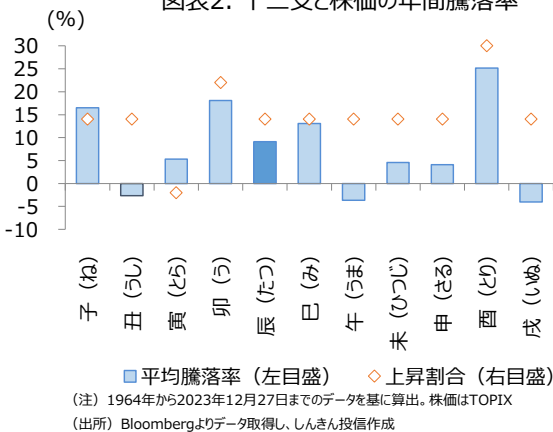
2024年の十干は“甲(きのえ) ”、十二支は“辰(たつ)”にあたり、“甲辰(きのえ・たつ)”は「成功という芽が成長していき、姿を整えていく」とされています。また、相場の格言では「辰巳(たつみ)天井」と言われ、“辰年”と“巳年”は高値を付けるとされています。

“辰年”の過去60年のTOPIXの年間の平均騰落率は十二支の中で6番目ですが、9%強とプラス、勝率については3勝2敗です(図表1、2)。“甲”については、騰落率は十干の中で6番目ですが、4勝2敗とやや勝率が上がります。また、過去4回は負けなしです(図表1、3)。

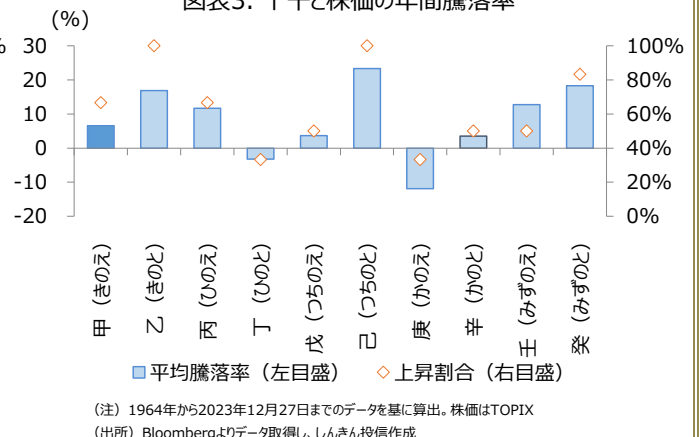
図表1. TOPIX年間騰落率の推移



図表2. 十二支と株価の年間騰落率



図表3. 十干と株価の年間騰落率





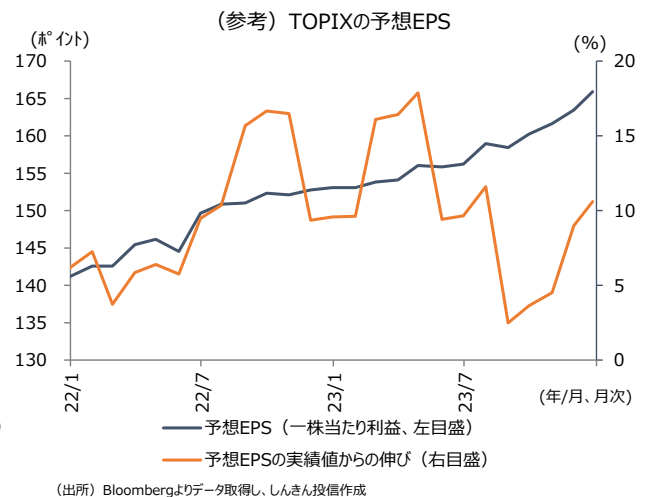
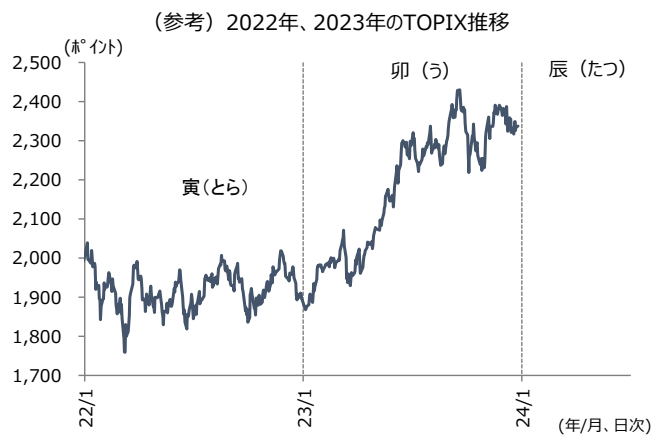
しんきんアセットマネジメント投信株式会社 金融商品取引業者 関東財務局長(金商) 第338号  
 Shinkin Asset Management Co., Ltd. 加入協会／一般社団法人投資信託協会 一般社団法人日本投資顧問業協会  
 〒104-0031東京都中央区京橋3丁目8番1号 URL : [https:// www.skam.co.jp](https://www.skam.co.jp)

## ☐ 引き続き日米の中央銀行のかじ取りに注目、米大統領選も

為替が円高方向に振れた場合は重しになる可能性はありますが、2024年も良好な企業決算が続く見通しで、国内の株式市場は堅調な地合いが続きそうです。

日銀は早ければ1月、遅くても年の半ばまでにはマイナス金利解除や、長期金利をゼロ%程度(上限1%めど)に誘導するイールドカーブ・コントロール(YCC)の撤廃に動くことも想定され、相場の重しになる可能性があります。他方、米国については、2024年の利下げについて、米連邦準備理事会(FRB)の3回の利下げ見通しに対し、市場は6回の利下げの織り込みと、大きく乖離しています。市場の織り込みが行き過ぎだった場合には、内外の金融市場が不安定な動きになる可能性があります。

11月の米大統領選挙も波乱要因になる可能性があります。また、中東情勢などの地政学リスク、米中関係、米国の債務上限問題などにも気を付ける必要があります。国内では、新NISA(少額投資非課税制度)が相場を押し上げるかどうか、また日銀が注目する2024年春闘も確認したいところです。



(シニアストラテジスト 鈴木和仁)



**しんきんアセットマネジメント投信株式会社** 金融商品取引業者 関東財務局長(金商) 第338号  
**Shinkin Asset Management Co., Ltd.** 加入協会／一般社団法人投資信託協会 一般社団法人日本投資顧問業協会  
 〒104-0031東京都中央区京橋3丁目8番1号 URL : [https:// www.skam.co.jp](https://www.skam.co.jp)

＜本資料に関してご留意していただきたい事項＞

- ※本資料は、ご投資家の皆様に投資判断の参考となる情報の提供を目的として、しんきんアセットマネジメント投信株式会社が作成した資料であり、金融商品取引法に基づく開示資料ではありません。
- ※本資料は、信頼できると考えられる情報源から作成しておりますが、当社はその正確性、完全性を保証するものではありません。また、いかなるデータも過去のものであり、将来の投資成果を保証・示唆するものではありません。
- ※本資料の内容は、当社の見解を示しているに過ぎず、将来の投資成果を保証・示唆するものではありません。記載内容は作成時点のものであり、予告なく変更する場合があります。
- ※投資信託は、預金や保険契約とは異なり、預金保険機構・保険契約者保護機構の補償の対象ではありません。また、登録金融機関でご購入いただいた投資信託は、投資者保護基金の対象ではありません。
- ※投資信託は、値動きのある有価証券等(外貨建資産には為替リスクもあります)に投資しますので、基準価額は変動します。したがって、預金と異なり投資元本が保証されているものではありません。運用による損益は全て投資者の皆様に帰属します。
- ※特定ファンドの取得のお申込みに当たっては、販売会社より当該ファンドの投資信託説明書(交付目論見書)をあらかじめ又は同時にお渡しいたしますので、必ず内容をご確認の上、ご自身でご判断ください。

【お申込みに際しての留意事項】

■投資信託に係るリスクについて

投資信託は、株式や債券等の値動きのある有価証券等(外貨建資産には為替リスクもあります)に投資しますので、基準価額は変動します。したがって、預金と異なり投資元本が保証されているものではありません。運用による損益は全て投資者の皆様に帰属します。

また、投資信託は、個別の投資信託ごとに投資対象資産の種類や投資制限、取引市場、投資対象国等が異なることから、リスクの内容や性質が異なりますので、ご投資に当たっては投資信託説明書(交付目論見書)や契約締結前交付書面をよくご覧ください。

■投資信託に係る費用について

(お客様に直接ご負担いただく費用)

- ◆ ご購入時の費用・・・購入時手数料 **上限 3.3%(税抜 3.0%)**
- ◆ ご換金時の費用・・・信託財産留保額 **上限 0.3%**

(保有期間中に間接的にご負担いただく費用)

- ◆ 運用管理費用(信託報酬)・・・純資産総額に対して、**上限年率 1.628%(税抜年率 1.48%)**
- ◆ その他の費用・・・監査費用、信託財産に関する租税、信託事務の処理に要する諸費用、有価証券売買時の売買手数料等および外貨建資産の保管等に要する費用は、ファンドより実費として間接的にご負担いただきます。また、投資信託証券を組み入れる場合には、お客様が間接的に支払う費用として、当該ファンドの資産から支払われる運用管理費用、投資資産の取引費用等が発生します。これらの費用につきましては、運用状況等により変動するものであり、事前に料率、上限額等を示すことができません。投資信託に係る上記費用(手数料等)の合計額については、ご投資家の皆様がファンドを保有される期間等に応じて異なりますので、表示することができません。

《ご注意》

上記に記載しているリスクや費用につきましては、一般的な投資信託を想定しております。費用の料率につきましては、しんきんアセットマネジメント投信が運用する全ての投資信託のうち、ご負担いただくそれぞれの費用における最高の料率を記載しております。投資信託に係るリスクや費用は、それぞれの投資信託により異なりますので、ご投資される際には、事前に投資信託説明書(交付目論見書)や契約締結前交付書面をよくお読みください。

※本資料で使用している各指数に関する著作権等の知的財産権、その他一切の権利はそれぞれの指数の開発元もしくは公表元に帰属します。